

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 2 区分
 【発行日】平成 27 年 12 月 10 日 (2015.12.10)

【公表番号】特表 2015-512014 (P2015-512014A)
 【公表日】平成 27 年 4 月 23 日 (2015.4.23)
 【年通号数】公開・登録公報 2015-027
 【出願番号】特願 2014-553637 (P2014-553637)
 【国際特許分類】

F 1 6 L 41/02 (2006.01)

G 2 1 D 1/00 (2006.01)

【 F I 】

F 1 6 L 41/02 Z

G 2 1 D 1/00 B

【手続補正書】
 【提出日】平成 27 年 10 月 19 日 (2015.10.19)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

流動性質量流 (M_0) を分離するための装置であって、
前記流動性質量流 (M_0) を導くための第 1 の末端部 (3) と、前記流動性質量流 (M_0) の複数の分離された部分流 (M_1 、 M_2 、 M_3) を導くための複数の第 2 の末端部 (4、6) とを備え、

複数の分離要素 (2、8) が前記第 1 の末端部 (3) 内の領域に設けられており、前記複数の分離要素 (2、8) によって規定される部分領域 (V_1 、 V_2 、 V_3) の各々が前記部分領域 (V_1 、 V_2 、 V_3) のそれぞれに割り当てられた第 2 の末端部 (4、6) に通じている装置。

【請求項 2】

前記部分領域 (V_1 、 V_2 、 V_3) の数は、前記第 2 の末端部 (4、6) の数に等しい請求項 1 記載の装置。

【請求項 3】

固有の対称軸 (X) を有する請求項 1 または 2 記載の装置。

【請求項 4】

前記第 2 の末端部 (4、6) を 3 つ有する三方分配器 (1) である請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載の装置。

【請求項 5】

前記第 2 の末端部の少なくとも 1 つ (6) が内部案内管 (2) である請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載の装置。

【請求項 6】

前記内部案内管 (2) の各々は滑らかな曲率を有する請求項 5 記載の装置。

【請求項 7】

前記分離要素の少なくとも 1 つ (2) が、前記第 1 の末端部 (3) に同心的に配置された内部案内管 (2) の形に形成されている請求項 1 から 6 のいずれか 1 項に記載の装置。

【請求項 8】

前記内部案内管(2)は、前記第2の末端部(6)を形成する請求項7記載の装置。

【請求項9】

前記分離要素の少なくとも1つ(8)は分離要素(8)である請求項1から8のいずれか1項に記載の装置。

【請求項10】

それぞれの前記分離要素(8)は、前記第1の末端部(3)と前記内部案内管(2)との間に配置されている請求項8を引用する請求項9記載の装置。

【請求項11】

・前記第1の末端部(3)に同心的に配置され、最初の前記第2の末端部(6)を形成する内部案内管(2)は前記対称軸(X)を取り囲み、

・前記対称軸(X)に関して互いに向き合って配置された2つの分離要素(8)が設けられている

請求項3を引用する請求項4を引用する請求項5を引用する請求項7を引用する請求項10記載の装置。

【請求項12】

前記対称軸(X)に直交する断面に関して前記第1の末端部(3)の領域に2つの半円リング状の部分領域(V_1 、 V_3)が存在し、

前記部分領域(V_1 、 V_3)は2つの同種の対称軸(X)に関して互いに向き合うように配置された前記第2の末端部(4)に通じている請求項11記載の装置。

【請求項13】

・管状に形成された前記第1の末端部(3)の前記分離要素(8)の領域における内径は500mmから600mmの間の値をとり、

・前記内部案内管(2)の前記第1の末端部(3)の領域における内径は180mmから200mmの間の値をとり、

・前記内部案内管(2)の前記第1の末端部(3)の領域に向かい合う末端側の領域における内径は180mmから300mmの間の値をとり、

・同種の前記第2の末端部(4)の内径は300mmから400mmの間の値をとり、前記各内径の値はそれらの任意の組み合わせが可能である請求項12記載の装置。

【請求項14】

1つにまとめられた成形部分として形成されている請求項1から13のいずれか1項に記載の装置。

【請求項15】

第1の流動性質量流(M_0)を少なくとも3つの互いに分離された第2の部分流(M_1 、 M_2 、 M_3)に分離するための装置であって、

前記第1の流動性質量流(M_0)の流れ方向に見て、それぞれ第2の末端部(4)へ移行する少なくとも2つの湾曲管(9)に分岐する管部分の形をした第1の末端部(3)と、

組み込み配置の様式でリング状間隙(13)を形成するように前記第1の末端部(3)内へ突出しかつ流れ方向に見て別の第2の末端部(6)を形成する外部部分(14)へ移行する内部部分(12)を有し、前記湾曲管(9)によって形成された分岐部(11)を通して導出されている直線状の分離管(10)とを備え、

前記第1の末端部(3)の断面で見ても前記第1の流動性質量流(M_0)の中心の成分は、方向転換なしに部分流の1つ(M_2)として前記分離管(10)を通流し、前記第1の流動性質量流(M_0)の残りの外側の成分は、前記リング状間隙(13)を通過してさらなる部分流(M_1 、 M_3)を生じて前記少なくとも2つの湾曲管(9)へ分けられるようになっている装置。

【請求項16】

前記分離管(10)は、前記第1の末端部(3)に同心的に配置されている請求項15記載の装置。

【請求項17】

前記リング状間隙（１３）内に配置され、前記分離管（１０）から放射状に突出し、しかも前記分離管（１０）の長手方向に延び、前記湾曲管（９）へ入る部分流を互いに分離するための分離要素（８）を備える請求項１５又は１６記載の装置。

【請求項１８】

前記湾曲管（９）は、前記第１の末端部（３）の周方向に見て全円を等分割するように配置されている請求項１５から１７のいずれか１項に記載の装置。

【請求項１９】

前記湾曲管（９）は３０°から１２０°の範囲の曲り角を有する請求項１５から１８のいずれか１項に記載の装置。

【請求項２０】

前記分離管（１０）は、前記分岐部（１１）を通り抜ける範囲において前記湾曲管（９）を取り囲む管壁に対し密閉されている請求項１５から１９のいずれか１項に記載の装置

。